



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

新年あけましておめでとうございます。2016年は英EU離脱決定、そして米大統領選トランプ氏勝利という政治的混乱が続き、世界の金融市場もその反応に翻弄された1年でした。それでも年末では日経平均が5年連続上昇で終わり、米ダウ平均は史上最高値を更新、欧州でも株価は急回復する中で新年を迎えました。

11月の米大統領選以降は、トランプ新政権の景気拡大政策期待が世界のマネーを楽観サイドに揺り動かして、ドル高と米日欧先進国市場の株高を演出し、長期金利と原油価格も上昇トレンドに転ずるなど、金融市場は年末にかけて景色を一変させましたが、このトランプラリーはすべからくトランプ新大統領就任前の期待相場であり、多くの不確実性を孕む危うさと背中合わせでもあります。

それが証左に先進国の株式市場では、いずれも本来急騰すべき本源的価値を有しているとは言い難いセクターの、とりわけ大型企業が主導的に価格水準を釣り上げていて、事業価値に立脚した価格形成から乖離が著しくなっています。トランプラリー相場が一巡した後には、必ずや揺り戻しの回帰が起こるでしょう。

年末の相場動向は、真つ当なアクティブ株式運用にとっては試練の環境で、全体の値動きを追いかけたくなる誘惑に負けたファンドも少なからずあったと思われますが、相場を追わぬセゾン投信流長期投資は、泰然自若を貫いています。決して相場に勝とうとせず、相場の本来的価値への収斂を待っているわけで、本格的長期投資ファンドの真価を問う、そして長期投資を謳う運用の真贋がやがて詳らかになる局面でありましょう。

2017年は米国経済が成長トレンドをより堅固にして、日欧先進国経済にはドル高傾向の定着が追い風となって、景気回復を追従するカタチで世界経済を下支えする構図が確立する中、グローバルゼーション構造の新たなステージの幕開けとなる重要な一年になりそうです。それは地球経済の長期成長軌道安定に寄与し、「セゾン号」はそのメガトレンドを忠実にトレースして行く長期投資を変わず続けてまいります。

本年も「セゾン号」の旅をどうぞよろしく願いいたします！

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

## 12月の市場動向

**株式：**【途中まで上昇基調となったものの、中盤以降は米国で利上げ観測が強まったことを受けて力強さを欠く展開】

原油価格が上昇しリスク選好が強まったほか、景気の先行きへの明るい見方が維持され、途中まで上昇したものの、中盤以降は米国で利上げペースが加速するとの見方が強まって全般的に力強さを欠く展開となり、特に新興国の株式市場は軟調な展開となりました。

**債券：**【利上げペースが加速するとの見方が強まった米国債が軟調な展開、金融緩和の長期化観測を背景にユーロ圏の国債は上昇】

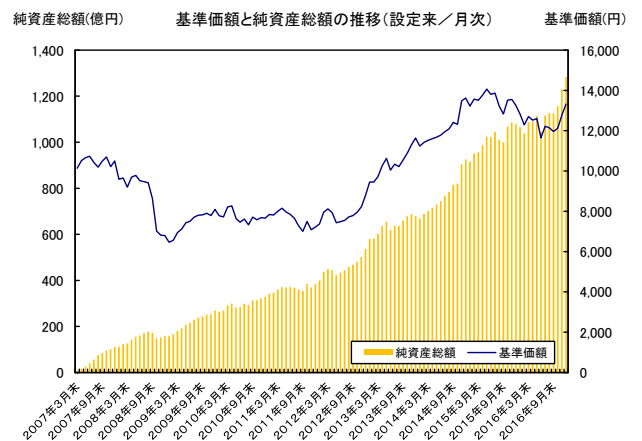
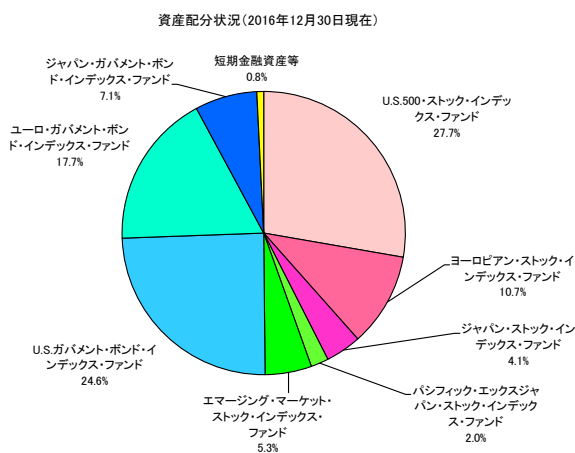
原油価格が上昇し物価上昇観測が高まるなかで、利上げ観測が高まった米国債が軟調な展開となり、海外との金利差が広がっていた日本国債が下落しました。ユーロ圏の国債は量的緩和策が延長され、金融緩和の長期化観測が高まったことを受けて上昇しました。

**為替：**【利上げ観測が一段と強まったドルが一段と上昇し、金融緩和の長期化観測が強まったユーロや円は対ドルで下落】

利上げペースが加速するとの見方が強まったドルが引き続き上昇し、金融緩和の長期化観測を背景にユーロは軟調な展開となりました。円は日本銀行が金利上昇を抑制する方針を示す中、リスク選好が強まる局面で下落し、対ドル、対ユーロで円安となりました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年12月30日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
13,318円	1283.5億円	+33.18%	+4.19%	+14.34%	+0.49%



## 12月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、株式市場が大きく上昇したことを受けて、株式ファンドを売却し、債券ファンドを購入することにより、リバランスを行なったほか、定期積立プランでの購入などにより、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って比率が低下していた債券ファンドへの投資を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、新興国や太平洋地域の株式に投資するファンドや、米国や日本の債券に投資するファンドが下落したものの、米国、欧州、日本の株式に投資するファンドや欧州の債券に投資するファンドが上昇し、投資先のファンドは基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円安となり基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

※詳細はセゾン投信 HP に掲載しております「運用レポート(詳細版)」をご覧ください。

図1 12月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

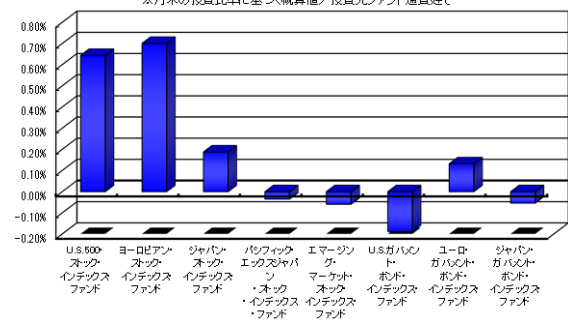


図2 12月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5076%（税抜0.47%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.69%±0.03%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及びVanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

### セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00～17:00（土日祝日、年末年始を除く）